

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公表番号】特表2008-538309(P2008-538309A)

【公表日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2008-042

【出願番号】特願2008-506644(P2008-506644)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

A 6 1 B 18/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 M 25/00 3 0 9

A 6 1 B 17/39 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月8日(2009.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

層状の組織構造を融合する装置であって、  
近位端および遠位端を有する細長い部材と、  
該細長い部材の遠位部上のガイド部材と  
を含み、  
該ガイド部材は、層状の組織欠損のサイジングおよび配向を示すように適合されている、  
装置。

【請求項 2】

前記ガイド部材は、前記層状の組織欠損の長さを示すようにさらに適合されている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記細長い部材の遠位部に隣接した閉鎖機器をさらに含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記ガイド部材は、前記閉鎖機器の前記層状の組織欠損に併置するような配置を促進し、  
よって該閉鎖機器が該層状の組織欠損を効果的にふさぎ得るように適合されている、請求項 3 に記載の装置。

【請求項 5】

前記閉鎖機器は、前記ガイド部材の上方を摺動自在に可動である、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記ガイド部材は、先細の一組の細長い部材を含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記ガイド部材は、複数のアームを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

前記アームは移動可能なアームである、請求項 7 に記載の装置。

**【請求項 9】**

前記ガイド部材は、複数のワイヤ状針電極を含む、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 10】**

前記ガイド部材は、リング状ワイヤを含む、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 11】**

前記リング状ワイヤは、その外周に沿って可変の剛性を有する、請求項 10 に記載の装置。

**【請求項 12】**

前記ガイド部材は、前記細長い部材の遠位部内に、摺動自在に配置されている、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 13】**

前記ガイド部材が前記細長い部材内に格納されているとき、該ガイド部材は、該細長い部材とともに滑らかな表面を形成する、請求項 12 に記載の装置。

**【請求項 14】**

シースをさらに含み、前記ガイド部材は摺動自在に該シース内に格納される、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 15】**

前記ガイド部材上に配置される放射線不透過マーカをさらに含む、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 16】**

前記細長い部材の前記遠位端の近くに、出口端子を有するガイドワイヤの管腔をさらに含む、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 17】**

前記ガイド部材は、複数の伸縮自在のレールを含む、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 18】**

前記ガイド部材は、前記細長い部材の前記遠位端に隣接して、展開した突出部様の部分を含む、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 19】**

前記ガイド部材は 1 つ以上の複合湾曲部を含み、該湾曲部は前記閉鎖機器を配置するように適合されている、請求項 1 に記載の装置。

**【請求項 20】**

前記ガイド部材は、前記ガイド部材が卵円孔開存のトンネルに挿入される間、前記閉鎖機器を配置するように適合されている、請求項 3 に記載の装置。